

令和8年度 2年 年間指導計画・評価計画

学年の重点項目		個人と全体の関係を理解し、時と場に応じた適切な言動を身につけ、男女互いに相手の人格を尊重し、個性の伸長と集団生活の向上に努める態度を身につける。			
月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動など との関連
4月	1 お菓子、どうする? 「みんなが納得できるルール作りのために」 【C 遵法精神、公德心】	1	望ましいルールについて自分の立場を可視化しながら話し合うことを通して、「自分自身の意思」と「他者の意思」を両立できる、きまりのよりよいあり方について考えようとする道徳的判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 一見理不尽にも見えるきまりにも意義があることに気づき、よりよいきまりのあり方について、級友の意見にふれ、自身の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 学級目標の話し合いのプロセスなどを想起しながら、自分の問題として、よりよいきまりのあり方について自分なりの考えを深めている。	特別活動
	2 まるごと好きです 「他者の個性を尊重するとは」 【B 相互理解、寛容】	1	「まるごと好きになる」手法について考えることを通して、これまでの自分の人とのつき合い方を振り返りながら、それぞれのよさや個性を尊重できる実践的態度を養う。	【多面的・多角的に考える】 「まるごと好きになる」という考えについて、友達の見解を真剣に聞きながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 どうしても相手との違いを受け入れられない場合のつき合い方について、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動
	3 先輩 「自律した生き方」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	部活動に対して真面目に取り組むことのできなかつた「僕」の言動について考えることを通して、自律した生き方で得られるものに気づき、自律ある行動をとうとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 自律的に行動し自らの行為の結果に責任をもつことの大切さについて、「僕」「岡村」「一年生」のそれぞれの心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自律的に生きるために大事にすべきことについて、「僕」の気づきを捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動
5月	4 あなたの声、心に届け 「誰もが自分らしく生きるために」 【C 公正、公平、社会正義】	1	人と違うと不安になったり、ありのままの自分でいられなかつたりする理由を話し合うことを通して、同調圧力に流されない、偏見のない社会の大切さに気づき、誰もが自分らしく生きられる社会のために、自分にできることを実践しようとする意欲を高める。	【多面的・多角的に考える】 自分がよかれと思って配慮した言動であっても、相手の尊厳を傷つけてしまう場合もあることに気づいている。 【自分ごととして考える】 「私」の主張から、姉・妹それぞれの思いに寄り添い、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現のために、まず自分から行動しようとする思いを膨らませている。	
	5 最優秀 「個性や立場の尊重」 【B 相互理解、寛容】	1	「私」、智美、詩織の三人の校内音楽祭に対する思いについて考えることを通して、「お互いの立場や考えを理解すること」が重要であることに気づき、自分も寛容な態度をもちながら、相互理解につとめようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 「私」、智美、詩織の思いを、それぞれの立場に立っただけで、しっかり考えている。 【自分ごととして考える】 三人の思いを共感的に捉えただけで、お互いの気持ちを尊重しながら生活するのに大切なことを自分に置きかえ、考えを深めている。	音楽、特別活動
	6 留学で考えさせられたお金 「自制心をもつ」 【A 節度、節制】	1	お金の意義や価値について考えることを通して、望ましい生活習慣を身につけ、節度を守り節制に心がけようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 お金とは何か、お金はなぜ必要なのか、お金の価値について、「私」の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「いきたお金の使い方」についての話し合いを通して、無駄づかいをせずに過ごそうとすることの大切さについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	国語、技術・家庭
6月	7 六千人の命のピザ 「真の国際人とは」 【C 国際理解、国際貢献】	1	杉原千敏の決断を支えた思いについて話し合うことを通して、国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に寄与する大切さに気づき、千敏の生き方から学んだことを自分の人生にいかしていこうとする実践意欲を育てる。	【多面的・多角的に考える】 いかなる国の人々も同じ人間として尊重し、公正・公平に接する真の国際人のあり方について、多くの級友の意見にふれ、自身の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 杉原千敏の生き方を通して、未来の自分の生き方について気持ちを膨らませている。	社会
	8 心のアンテナ 「あなたらしさとは」 【A 向上心、個性の伸長】	1	「私」の葛藤や発見を教材で追体験することを通して、自らの個性に気づき、伸ばし、自分らしく生きていこうとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 「私」と「級友たち」、それぞれの気持ちについて話し合うことを通して、自他の個性を尊重する大切さに気づき、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の個性を発見することが好循環となり、さらに自分の個性をいかした生き方につながっていることに気づいた発言をしている。	特別活動
	9 本当の友達って 「本当の友情とは」 【B 友情、信頼】	1	本当の友情について考えることを通して、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 本当の友達とはどういう存在なのかについて、悠太の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 悠太の葛藤を共感的に捉え、心から信頼できる友達と人間関係を築き、互いに高め合いながら成長することの大切さについて、自らの経験と重ねて考えを深めている。	技術・家庭
7月	10 風に立つライオン 「高く生きる」 【D よりよく生きる喜び】	1	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや、高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだす心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 歌詞の中から、恋人への思いや「僕」の誇りある生き方について、いろいろな角度から考察してみることで、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の生き方を通して、自らの人生を前向きに生きようとする意欲を高めている。	音楽
	11 分身ロボットでかなえたいこと 「新しいものを創造する」 【A 真理の探究、創造】	1	吉藤オリさんの「ないなら、つくる」という精神を手がかりに、「生きるとは、人の役に立つこと」について考えることを通して、主体的に真理を探究して新しいものを生み出そうとする意欲を養う。	【多面的・多角的に考える】 吉藤さんの「ないなら、つくる」という発想で新しいものを創造する姿勢を通して、思いこみや先入観にとらわれることなく、物事を多面的・多角的な視点で見ようとしている。 【自分ごととして考える】 孤独のストレスに苦しむ人をなくしたいと分身ロボットを開発した吉藤さんの姿から、自分も得意な分野をいかして、なにか世の中の役に立つものがつくれないかを考えている。	技術・家庭、社会
	12 SNSとどうつき合う? 「安全で節度ある生活」 【A 節度、節制】	1	SNSの使い方について話し合うことを通して、自分の生活を振り返り、節度を守り節制に心がけ、安全で調和のある生活をしようとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 節度を守り節制に心がけ、安全に生活するうえで、SNSとのつき合い方について、利便性と危険性を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「私」の立場に立ち、「私」の悩みを共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	技術・家庭
9月	13 あんパンとお礼状 「他者を敬う態度」 【B 礼儀】	1	職場体験で地域の人々と関わることを通して、礼儀の意義を理解し、相手に対して尊敬や感謝の気持ちを具体的に表し、心と形が一体となった、時と場に応じた適切な言動をとうとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 職場体験において、受け入れてくれた職場に対して尊敬や感謝の気持ちをもち、「僕」の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 社会のつながりの中で大切な礼儀について考え、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	総合的な学習
	14 清掃はやさしさ 「仕事への向き合い方」 【C 勤労】	1	清掃の仕事に誇りをもって取り組む「私」の姿を通して、勤労の尊さや意義についての理解を深め、自分も勤労を通じて社会に貢献しようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 自分の役割や仕事に対して、どのように向き合っていくか様々な角度から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 将来の生き方について考えを深め、自分の仕事に誇りもち勤労を通じて社会に貢献しようとすることについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動
	15 夜の果物屋 「思いがけない心づかいへの感謝」 【B 思いやり、感謝】	1	少女の気づきに共感することを通して、自分を支えている善意に目を向け、そのことに感謝し応えようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 重荷にならないようにという配慮がなされた思いやり気づき、感謝の対象の広がりにも理解を深めている。 【自分ごととして考える】 本時の学びをいかして、今後、どのように感謝を伝えていきたいか、思いを膨らませている。	
	16 まだ食べられるのに 「持続可能な社会の実現」 【C 社会参画、公共の精神】	1	まだ食べられる食品が大量に廃棄されている現状について話し合うことを通して、「食」という身近なところから、よりよい社会づくりに関わっていこうとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 やむをえない理由があれば捨ててもしかたないかという議論を通して、食品ロスの現状に対する考えを深めている。 【自分ごととして考える】 持続可能な社会の実現のために、食品ロスの視点から、自分の消費者としてのあり方を見つめ直そうとしている。	技術・家庭、総合的な学習、社会
9月	17 「べつのだ」へ ～レイチェル＝カーソンのメッセージ～ 「自然愛護に努める」 【D 自然愛護】	1	カーソンの自然環境に対する思いを理解することを通して、自然愛護が必要なことに気づき、自分もそのために寄与しようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 地球上の環境問題について、人間の都合、地球上の生物のこと、未来の子孫のことなど、様々な面から考えている。 【自分ごととして考える】 地球の環境問題は全人類の問題であることに気づき、「グリーンコンシューマー十原則」を参考に、他人任せにするのではなく、自分にできることは何か、深く考えている。	理科

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動など との関連
10 月	18 違反摘発 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	法やきまりの意義について考えることを通して、それらの大切さを再認識し、公德心に支えられた遵法精神と遵法への実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 法やきまりの意義について、両者の立場を踏まえたうえで、その心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 法やきまりに対して自分がどう向き合っていくか、公德心に基づき、自分なりの考えを深めている。	国語、社会
	19 心を鍛える 「その失敗は、本当に失敗？」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	荒木香織さんの生き方・考え方にふれ、挑戦するがゆえに直面する困難を乗り越える際に大切にしたいことを自分なりに考え、心構えを知り、積極的な思考や行動を習慣化していくようとする実践意欲を養う。	【多面的・多角的に考える】 荒木香織さんの考え方にふれることで、事実は変わらないが、見方・考え方を変えることで、ピンチをエネルギーに変えることができることに改めて気づいている。 【自分ごととして考える】 荒木香織さんの考え方を通して、希望と勇気をもって困難な状況を乗り越え、目標を達成しようとする気持ちを膨らませている。	保健体育
	20 狂言師・野村萬斎物語 「伝統の継承、新しい文化の創造」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	野村萬斎さんの狂言に対する思いを考えることを通して、「伝統の継承や新しい文化の創造」が必要なこと気づき、自分もそのために寄与しようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 「伝統の継承」「新しい文化の創造」の大切さについて、萬斎さんのそれぞれの年代での思いにふれ、自分の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「伝統の継承」「新しい文化の創造」について、萬斎さんの葛藤を自らの経験と重ねて共感的に捉え、自分がこれからできることについて考えを深めている。	国語、社会
	21 わたしのせいじゃない 「正義とはなんだろう？」 【C 公正、公平、社会正義】	1	「わたしのせいじゃない」とはいえない問題について話し合うことを通して、社会をよりよくするために主体的に関わっていくようとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 公正、公平に關する話し合いを通して、世界に視野を広げ、公正、公平な社会の実現のために自分にできることは何か考え、行動に移そうという意欲を高めている。 【自分ごととして考える】 登場するクラスの一人なら自分はどんな言動をするかについて考えることを通して、傍観者の責任に思いをめぐらせ、自分の問題として考えを深めている。	特別活動
11 月	22 由紀のいら立ち 「友情や信頼とは」 【B 友情、信頼】	1	友達を注意する役割演技をすることで、友達を尊重することの大切さや難しさについて考え、友達とよりよい関係を築き上げようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 登場人物の心情について、考えられる可能性を言動から多角的に検討し、友人に対する注意の仕方については、様々な言い方や内容を検討しながら、話し合っている。 【自分ごととして考える】 役割演技を行い、お互いに尊重しながら意見を言い合うこと大切さや難しさについて深く考えている。	特別活動
	23 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ 「家族の愛情」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	井村さんの手紙を読むことを通して、無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母を敬愛し、家族を大切にすることを育てる。	【多面的・多角的に考える】 最後まで病氣と闘い続ける井村さんを支えたものはなんであったのか、井村さんの心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 家族の幸せについて考えを深め、家族の大切さについて、井村さんの葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	技術・家庭
	24 「金のおの」その後 「誠実な生き方とは」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	誠実な生き方とは何かについて、様々な角度から考えることを通して、誠実でよりよい生き方を主体的に目指そうとする心情を高める。	【多面的・多角的に考える】 三人の木こりのそれぞれの姿を比較しながら、誠実な生き方について、様々な角度から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 誠実な生き方について、自分の生活経験を振り返り、木こりの生き方と重ねて考えを深めている。	
12 月	25 地下鉄で 「思いやって行動する大切さ」 【B 思いやり、感謝】	1	他者への思いやりの気持ちが具体的に表現された場面を読んだり、実際に演じたりすることを通して、はたらきかける側、はたらきかけられる側の気持ちを味わい、思いやりを行動に移そうとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 級友の演技を、共感しながら興味をもって視聴し、登場人物の立場による感じ方の違いを理解しながら、少女の行為の道徳的価値について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 教材を読んだ印象と、実際に演技をして味わう気持ちの違いを理解し、自分自身も思いやりを実践できる場やその方法を考え、実践意欲を高めている。	特別活動
	26 国境なき医師団・貫戸朋子 「命を大切にすることは」 【D 生命の尊さ】	1	紛争という極限状況における医師の判断についての議論を通して、命を大切にすることはどういうことなのかを考えていくようとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 目の前の命をただ助けることが医師の仕事ではなく、おかれた状況の中で、どのような判断をしていくことが、本当に命を大切にすることにつながるのかを考えることの重要性に気づいている。 【自分ごととして考える】 紛争地における特殊な事例として捉えるのではなく、身近なところにも命の大切さを考えるべき場面があることに気づき、日常生活の中で命の大切さをもっと意識していきたいという考えを深めている。	社会
	27 たったひとつのたからもの 「精いっぱい生きる」 【D 生命の尊さ】	1	秋雪くんの生きる姿を見て周りの人がどう思ったかを考えることを通して、生きることの意義に気づき、精いっぱい生きていくようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 精いっぱい生きることの大切さについて、秋雪くんだけでなく、お母さんの心情も理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 命を尊重することは、単に生きながらえることではなく、精いっぱい生きてこそ生命の尊重につながるものだという捉え、自らの経験を重ねて考えを深めている。	理科、技術・家庭
	28 伝えるということ 「郷土の文化を継承する」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土の伝統行事が長く継承されてきた理由や、継承する意義について話し合うことを通して、地域の伝統を継承・発展させるために自分にできることを実行に移そうとする意欲や態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 困難を乗り越えて地域の伝統文化を継承してきた人への尊敬の念や感謝の気持ちにまで考えを深めている。 【自分ごととして考える】 郷土の伝統文化を継承する意義について、「私」の生き方から学び、自分は今後、どのようにしていきたいか考えを膨らませている。	社会、総合的な学習
1 月	29 三年生を送る会 「先輩への敬愛」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	感謝の気持ちをこめて三年生を送り出す行事への姿勢について考えることを通して、教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合って、集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 学校行事において、学校の一員としての自覚をもち、自分の役割について、「僕」の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 学校の伝統を引き継ぎ、先輩がたに感謝の気持ちを伝え集団生活の充実に努めようとする大切さについて、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動
	30 ハッチを開けて、知らない世界へ 「本物に触れる」 【D 感動、畏敬の念】	1	体験したからこそ感じる宇宙や地球とのつながりについての話し合いを通して、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深め、感動する心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 宇宙のような壮大なところにだけ人の心に働きかけてくる大きな力があるのではなく、自分がこれまで触れてきた自然や芸術など日常の中にもそのような力があることに気づいている。 【自分ごととして考える】 本物に触れるすばらしさを改めて実感し、本物の自然や芸術などにもっと触れる機会を多くしていきたいという意識を高めている。	理科
2 月	31 五万回斬られた男・福本清三 「誠実な生き方」 【A 向上心、個性の伸長】	1	「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの生き方について考えることを通して、自分自身が納得できる充実した人生を生きるための心得を模索しようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 「生きがいのある充実した人生」について無名・有名の観点から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「生きがいのある充実した人生」について、今後の自分の生き方として志そうとする意欲を高めている。	特別活動
	32 復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～ 「よりよい社会のために」 【C 社会参画、公共の精神】	1	「私たちの学校や住んでいる地域をよくするためにできそうなこと」についての議論を通して、これからの生活や社会をよりよくするために主体的に関わっていくようとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 社会の役に立つとはどういうことか、話し合いを通して、より多くの友人と意見を交換し、考えを広げている。 【自分ごととして考える】 「住んでいる地域や学校をよりよくするためにできそうなこと」について自分なりに考えを深めている。	社会
	33 サッカーの種をまく 「郷土のよさや強み」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土の伝統を興した人とそれを受け止め支えた人々、双方の思いを推し測ることを通して、自分も地域の一人だという自覚と誇りをもち、伝統や文化の継承に努めようとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統を興した錦織校長の思いと、それを受けて支えた志太中第一回生の思いの双方から考えている。 【自分ごととして考える】 郷土のよさや強み、伝統や文化について理解を深め、それを守っていくようとする意欲を高めている。	保健体育
3 月	34 ドイツ・グリーツェンに眠る日本人医師 ～肥沼信次の生涯～ 「世界の中の日本人として」 【C 国際理解、国際貢献】	1	戦後、ドイツに残って伝染病の診療活動を続け、最期は自らも感染し客死した肥沼信次の生き方について学ぶことを通して、国際貢献のあり方について考えようとする態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 肥沼の生き方や信条について話し合うことを通して、国際貢献のあり方に対する考えを深めている。 【自分ごととして考える】 肥沼の生涯を貫く信条を、これからの自分の人生にどのように取り込むことができるか、考えを深めている。	社会
	35 語りかける目 「気高く生きる」 【D よりよく生きる喜び】	1	震災で母を失った少女の姿を通して、人間には弱さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きること喜びを見いだそうとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 人間として気高く生きることについて、少女の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 少女の目が語りかけ、今も語り続けていることは何かを考え、人間として生きることについて、少女の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動